

ポテくまぐんイチオン 産業支援インフォメーション

☎先端技術推進課 21-5522

産業支援課 25-5208



秩父銘仙^{なっせん}講座 受講生募集！

秩父に古くから伝わる絹織物「秩父銘仙」の染める技法である『捺染』技術を学ぶ講座です。

職人から直接指導を受けられる貴重な機会ですので、ぜひこの機会にお申し込みください！

期 間 令和6年4月～12月

※実施日は、月3回水曜日を予定。

と ころ ちちぶ銘仙館

定 員 6人 ※初心者に限る。申込状況により中止の可能性あり。

応募方法 3月28日(木)までに、ちちぶ銘仙館^{HP}から応募用紙をダウンロードし、☐または郵送で提出

申・問 ちちぶ銘仙館（熊木町28-1）

☎21-2112

☐orimono@ceres.ocn.ne.jp



三峰駐車場の混雑状況を確認できるサイトがオープン！

渋滞の課題解決のために三峰駐車場手前2kmおよび300m手前と、駐車場内にAIカメラを設置し、駐車場の混雑状況を可視化するポータルサイトをオープンしました。

このサイトでは、駐車場の混雑情報に加えて、トイレの場所、飲食店、土産店等の情報もまとめて表示していますので、ぜひ市民の皆さんもご覧ください。

☎先端技術推進課 21-5522



産学官連携セミナー〈理化学研究所特別講演会〉

と き 3月19日(火)午後3時30分～5時（受付3時～）

と ころ 歴史文化伝承館 2階ホール

内 容 理化学研究所と中小企業等との科学技術を基にした産業連携－農業から宇宙、水素エネルギー分野－

講 師 理化学研究所（特非）VCADシステム研究会
理事長 和田 智之 先生

定 員 200人 **参加費** 無料

☎・申 先端技術推進課 21-5522

3月18日(月)までに☐sentan@city.chichibu.lg.jpまたは☎25-0136あてにお申し込みください。

ちちぶ雇用活性化協議会からのお知らせ



雇用や就職に役立つ各種セミナー・イベントを開催しています。

どのセミナーも費用は無料です！

☎・問 ちちぶ雇用活性化協議会 26-7691へ電話または^{HP}から。

「労働条件明示のルール変更」

備えは大丈夫ですか？

労働契約関係の明示等に関する制度改正に伴い、4月から募集時などに明示すべき事項が追加になるなど、労働条件明示のルールが変わりますのでご注意ください（主な変更点は右図参照）。

詳しくは、厚生労働省の^{HP}をご覧ください。

☎埼玉労働局雇用環境・均等部（☎048-600-6269）または埼玉労働局労働基準部監督課（☎048-600-6204）

ちちぶ雇用活性化協議会の 具体的な取組内容

05 企業向けに

事業所の魅力向上、
事業拡大の取組

●魅力的な雇用の確保・拡大

- DXによる生産性向上セミナー
- 雇用環境改善セミナー
- WEB採用力向上セミナー
- インバウンドセミナー

《伴走型支援》
●DXによる生産性向上についての
伴走型支援及び好事例・ノウハウの
地域内企業への展開等

05 マッチング！

就職促進の取組

●面接会などによる

- 情報発信事業
- 女性・シニア向け説明会・面接会
- オンライン合同企業説明会・
就職面接会
- 転職フェアへの出展

05 求職者向けに

人材育成の取組

●人材のスキルアップ

- ビジネスITセミナー
- ビジネススキル向上セミナー
- キャリアアップ支援セミナー
- シニア就職支援セミナー
- 女性活躍支援セミナー

対象	明示のタイミング	追加される明示事項
全ての労働者	労働契約の締結時と 有期労働契約の更新時	就業場所・業務の変更の範囲
有期契約労働者	有期労働契約の締結時と更新時	●更新上限の有無と内容(有期労働契約の通算契約期間または更新回数の上限) ●更新上限を新設・短縮しようとする場合、その理由をあらかじめ説明すること
	無期転換ルールに基づく無期転換申込権が発生する契約の更新時	●無期転換申込機会 ●無期転換後の労働条件 ●無期転換後の労働条件を決定するに当たり、他の正社員等とのバランスを考慮した事項の説明に努めること

ちちぶ学セミナー 受講生募集！

秩父地域の自然環境、風土・歴史などの社会環境、文化・民俗芸能などの専門的な講義や実技を学びます。

■受講料を添えて生涯学習課へ（電話申込不可）

■歴史文化伝承館（生涯学習課） ☎ 22-0420

対象（定員）

■基礎講座：80人（先着順）

※「一般教養講座」を「基礎講座」に名称を変更しました。

■専門講座：8人（先着順）

※原則として基礎講座（一般教養講座）を受講したことがある方

■受講料 各講座とも年5,000円

■申込期間 4月22日(月)～26日(金)午前9時～午後5時

■基礎講座・■専門講座ともに **と き** 午後1時30分～3時30分（予定） **ところ** 歴史文化伝承館1階研修室
※開講式・公開講座(1)、公開講座(2)、閉講式・研究発表会は、午後1時30分から歴史文化伝承館2階ホールで開演します。
※内容に変更がある場合、決定次第、市HP「生涯学習課のコンテンツ一覧」に掲載します。

■基礎講座

と き	内 容	講 師
5月11日(土) 開講式・公開講座(1)※	地質・地形と文化	秩父まるごとジオパーク推進協議会上席推進員 吉田 健一 氏
6月4日(火)	秩父の方言と地名	秩父方言・地名研究者 高田 哲郎 氏
6月18日(火)	棕神社の神威	郷土史研究家 高橋 稔 氏
7月2日(火)	秩父山峡の分教場設立の背景と一時的林業移住者『非定住製炭者』について	元小鹿野町教育委員会教育長 中 紀雄 氏
7月16日(火)	埼玉の七夕行事 一秩父地域は、どの類型か？一	秩父市文化財保護審議委員会副委員長 柳 正博 氏
7月30日(火)	秩父地域における建築物	株式会社丸岡設計 代表取締役 丸岡 庸一郎 氏
8月20日(火)	戦国時代の秩父と北条氏邦（その3）	駿河台大学教授 黒田 基樹 氏
9月7日(土) 公開講座(2)※	武甲山の地質と秩父の発展	東京農業大学非常勤講師、NPO法人ちちぶまるごと博物館 理事長 小幡 喜一 氏
9月10日(火)	『新編武蔵風土記稿』にみる江戸時代の秩父郡	立正大学 文学部史学科 専任講師 栗原 健一 氏
9月24日(火)	森の恵みを未来へつなぐ ～秩父メープルプロジェクト～	NPO法人秩父百年の森、メープルベース代表、株式会社 TAP&SAP代表取締役 井原 愛子 氏
10月8日(火)	西武鉄道と秩父の観光産業の発展（仮称）	西武鉄道株式会社（講師未定）
11月12日(火)	明治の秩父 一秩父新道一	元横瀬町文化財保護審議委員 島崎 孝志 氏
11月19日(火)	石と縄文人	秩父市文化財保護審議委員会委員 深田 芳行 氏
12月17日(火)	秩父の生きものとその特性（仮称）	埼玉県立自然の博物館 学芸員（講師未定）
3月8日(土) 閉講式・研究発表会※	専門講座受講生による研究成果発表	元埼玉県立川の博物館研究交流部長 大久根 茂 氏

■専門講座

コース	講 師	日 程
荒川再発見コース	元埼玉県立川の博物館研究交流部長 大久根 茂 氏	5月11日(土) 開講式・公開講座(1)※ 5月25日(土) 講義 6月～10月 この間で現地調査を2回実施 9月7日(土) 公開講座(2)※ 11月2日(土) 調査報告会 12月20日(金) レポート提出 1月18日(土) 講評 3月8日(土) 閉講式・研究発表会※

各講座は、都合により開講できない場合があります。

●●● がんばる商店街！ ●●●

チャレフェス開催

～めった集まるごうぎな祭り～

と き 4月7日(日)午前10時～午後4時

ところ ユニクス秩父内

内 容 秩父内外から様々なお店が出店！

毎年恒例の、地元住民参加型のイベント「チャレフェス」を開催します。

地元の商品、農産物の販売のほか、特設ステージでの音楽やダンス、地元コミュニティの発表の場として提供

します。

・いろいろな景品が当たる抽選会！ 先着550名さま
午前10時30分、午後1時・3時の3回に分けて実施

※出店者・出演者募集

出展者やステージ出演者についても募集中です。チャレフェスの詳細につきましてはお気軽にお問い合わせください。

■実行委員会 担当：町田 ☎ 090-8035-3800

■event-chichibu@neighborhood

【予告】次回ナイトバザール

と き 4月20日(土)午後7時～お楽しみに！



ポテくまくんのイラストは、題材を食べてりないよー

夢をかなえる 未来にはばたく 秩父地域の高校

小鹿野高等学校

3年次生総発表会

12月19日に、本校3年次生による『『総合的な探究の時間』成果発表会』を小鹿野文化センターで開催しました。この授業では「地域に愛される小鹿野高校」をテーマに、高校生ならではの視点で、新たな同好会の設立やSNSを用いた情報発信、小鹿野町の高齢化に対して高校生としてできることは何かなど、探究活動を行いました。授業にご協力をいただいた地域の皆様、ありがとうございました。



総合防災訓練

12月21日に、地震・火災を想定した避難訓練、救助袋降下訓練、初期消火訓練を実施しました。生徒や職員の全員が真剣に訓練に臨みました。

東日本大震災や能登半島地震など、大規模な地震がいつどこで起こるかわかりません。実際に災害に遭遇した場合でも、パニックに陥ることなく落ち着いて行動することができるよう、常日ごろ防災意識を持たせていきたいと思います。



小鹿野高等学校



地域おこし協力隊

令和3年4月に東京から秩父市に移住してはや3年が経とうとしています。

秩父市の地域おこし協力隊を目指したきっかけは「大好きな秩父市をたくさんの人に知ってもらいたい」という気持ちからです。その気持ちを持って移住検討者に秩父の良さをたくさん伝えてきました。良さを伝えるために移住相談はもちろんのこと、秩父の魅力を伝えるイベントの企画やオンラインコミュニティを運営してきました。もちろん最初からうまくは行きましたが、周りの先輩方の指導でたくさんを学びました。私が移住相談した方が移住してきたときはとても嬉しかったことを今でも覚えています。

協力隊の活動を通して学んだことは、「地域とつながることの大切さ」と「チャレンジを止めないこと」です。秩父の良さは人とのつながりだと感じます。私が移住したときはコロナ禍で行動が制限されていました。しかし、地域の方々はそんな私を温かく迎え入れてくれ、よそ者としてではなく「いち秩父市民」として認めてくださったことはとても嬉しかったのを覚えています。その後、秩父夜祭の山車を曳いたり、お神

～卒業・特別号～

移住相談センター：西村岳登

興を担がせてもらったりと機会にも恵まれ、つながりの大切さと秩父の良さを感じる良いきっかけになりました。また、活動中は自ら進んでチャレンジすることを止めないことの大切さを学びました。活動の中では未経験なことも多くあり、チャレンジすることで新しいスキルの獲得にもつながりました。協力隊だからこそできたこと、それが結果的に移住者を増やすことにもつながったと感じます。地域おこし協力隊卒業後は秩父市に定住し、協力隊活動中にチャレンジしてきた「映像制作」を本業にします。映像で引き続き、秩父を盛り上げられるように精進していきたいと思います。

最後に、移住してきた私を快く迎え入れてくれた職場の同僚や市職員、地域住民、同じ移住者の方々には大変お世話になりました。

今後も秩父市民としてよろしくお願いたします。

